

初期研修医（ジュニアレジデント）		
1	診療科名	アレルギー・リウマチ 科
2	診療科紹介	当科はアレルギー・リウマチ膠原病専門科として日本有数の長い実績があり、症例が豊富ですので、専門医になるため十分な臨床経験を積むことができます（入院年間 約360例、外来1日 約80例）。
3	臨床研修指導医	佐藤浩二郎、釜田康行、佐藤健夫、石澤彩子、中村潤、山本翔太郎、日下寛惟 他
4	研修概要（特徴）	病棟入院患者 5-10人を担当します。指導医の指導のもと診察法、一般的な手技（関節穿刺や中心静脈カテーテル挿入など）等膠原病診療の基礎を習得します。また、希望者には外来診療研修を行っています。
5	研修内容（方略）	主要な目標はリウマチ膠原病疾患の診断・治療の基本知識の習得、関節評価や画像診断の習得、チーム医療の実践です。そのために症例検討、定期的なフィードバックを実施します。ガイドラインに基づいた最新の治療戦略も学習します。
6	到達目標	(1)一般目標（GIO） リウマチ膠原病疾患特有の、多彩な身体所見を理解する。
		(2) 個別目標（SBO） 診断未確定の疾患を診断するための検査計画が立案できる。 グルココルチコイドの副作用の管理を行うことができる。
7	週間スケジュール	
7-1	月曜日（午前）	9時00分～ カンファレンス、教授回診
7-2	月曜日（午後）	病棟診療
7-3	火曜日（午前）	病棟診療
7-4	火曜日（午後）	病棟診療
7-5	水曜日（午前）	病棟診療
7-6	水曜日（午後）	病棟診療
7-7	木曜日（午前）	9時30分～ 病棟カンファレンス、症例検討会
7-8	木曜日（午後）	病棟診療、抄読会（不定期）
7-9	金曜日（午前）	病棟診療
7-10	金曜日（午後）	病棟診療
8	経験できる症例	関節リウマチ、全身性エリテマトーデス、強皮症、多発性筋炎・皮膚筋炎、混合性結合組織病、シェーグレン症候群、抗リン脂質抗体症候群、血管炎症候群、リウマチ性多発筋痛症、成人スティル病、ベーチェット病、サルコイドーシス、脊椎関節炎 等
9	指導医からのメッセージ	当科が扱う疾患は、関節リウマチの治療のように進歩が著しい分野もありますが、まだまだ診断がつかない未知の疾患、治療法がない疾患がたくさんあります。リウマチ膠原病患者さんが一人でも元気になるよう、我々と一緒に頑張ってみませんか。